

鳥づくりは、未来づくり。

屋久島CO2フリーの鳥づくり
サポーター募集!

鹿児島県
鹿児島県環境林務部地球温暖化対策課
〒890-8577 鹿児島県鹿児島市南栄10番1号
☎ 099-286-2586 FAX 099-286-5539
屋久島CO2フリー

エネルギー面もクリーンな屋久島

世界自然遺産に登録されている屋久島では、年間発電量の約99.5% (平成22年度) を再生可能エネルギーである水力発電が占めています。

「屋久島CO2フリーの鳥づくり」とは

「屋久島CO2フリーの鳥づくり」とは、この特徴を活かして、事業活動や家庭、運輸部門等におけるCO2排出量の削減を促進し、石油類を燃料源とすることなくCO2の発生が実質的に抑制された先進的な地域づくりを図るものです。

また、屋久島を、多様で豊かな自然環境を有する「地球環境先進県」としての本県の情報発信のモデル地区にすることを旨とするものです。

県では、学識経験者等からなる屋久島CO2フリーの鳥づくりに関する研究会からの意見・提言の内容を踏まえ、電気自動車の普及に取り組んでおり、平成22年度からは、屋久島の個人・事業者を対象に電気自動車や充電設備の導入助成を行っています。また、県屋久島事務所への公用電気自動車の導入や、電気自動車が安心して走行できる環境づくりのための急速充電設備の整備を行ったほか、電気自動車の試乗会の開催、「CO2フリーの鳥づくり」のコンセプトの広報、電気自動車を活用した観光プランの開発等に取り組んでいます。また、事業者、住民、行政等からなる屋久島低炭素社会地域づくり協議会では「屋久島低炭素社会地域づくり構想」を策定し、この構想に基づき、地域が一体となって、家庭や事業所における省エネやマイバッグ運動など、温室効果ガス排出量削減のための取組を推進しています。

年間発電量の割合

地域	水力 (内水力含む)	火力 (内火力含む)	その他
屋久島	99.5%	0.5%	-
九州	71.7%	19.8%	1.9%

資料：前計やくしま、平成22年度鹿児島県統計年報、九州電力アクションレポート2012

Yakushima World Natural Heritage

「屋久島の魅力」

屋久島は九州本土の南端に多岐の岬60回にわたって前線が走る約100kmの周りを1300km程と環状島に近い大きさの高です。

屋久島は水と緑の島、年間9千mmという雨はV字谷を削りて滝となり、照葉樹林を彩るお花と滝へと約がります。山々は屋久杉をほのめ、さまざまな樹木におおわれ、島の90%が森林です。

海と山と水と新く大島と多岐の岬と表情豊かな自然の美行きが広がります屋久島です。

●平成5年に日本で初めて「世界自然遺産」に登録され、平成25年に登録20年を迎える。

●亜熱帯から冷温帯に及ぶ様子の典型的な垂直分布が見られる。

●1,000m以上の高塔が連なり「塔上のアルプス」と呼ばれる。

●推定樹齢約7200年ともいわれる縄文杉。

●北太平洋で最も「アカウミガメ」の上陸数や産卵数が多い水田いなか浜。

●九州で最も高い宮之浦岳(1936m)

鹿児島県

【急速充電設備操作マニュアル】簡易版 栗生

はじめに、タッチパネル画面が映えている場合は画面にタッチしてください。

- ①充電開始
- ②充電画面の選択
- ③カード認証
- ④充電画面
- ⑤充電終了

※再認証(自動)のタイムアウトにより、充電動作時に5秒程度お待ちいただく場合がございます。

【急速充電設備の利用方法】

- ①ご利用にあたって、事前の電話連絡等は不要です。ただし、先に利用されている方がいる場合は、お待ちいただくことがあります。
- ②ご利用は、必ず元の状態でご利用ください。
- ③操作がうまくいかない場合は、簡易版マニュアル(0997-46-2211)に必ずご確認ください。(※但し認証は不要です。)
- ④簡易版マニュアルを参照してください。その際、簡易版マニュアルに必ずご確認ください。
- ⑤終了後は、必ず元の状態でご利用ください。
- ⑥2.1kWh以下については、別途お支払いの手続きを行っていただく必要はありません。
- ⑦30kWh以上については、別途お支払いの手続きを行っていただく必要はありません。

【急速充電設備の利用時間】

設置場所	利用可能時間
宮之浦	午前8時30分～午後5時 ※夜間のみ午後7時まで
安房	24時間
栗生	24時間
永田	24時間

※急充電設備の利用や操作に関する問い合わせは屋久島事務所(0997-46-2211)までお願いします。

【急速充電設備操作マニュアル】簡易版 宮之浦・安房

- ①充電開始
- ②カード認証
- ③充電画面の選択
- ④充電画面
- ⑤充電終了

【地球環境にやさしい電気自動車】

電気自動車のCO2排出量は、ガソリン車に比べて約1/3に削減され、CO2削減に貢献します。

電気自動車(鹿児島) = 5.98kg-CO2/kWh × 16.7kWh × 2.32kg-CO2/kWh = 232kg-CO2

ガソリン車 = 19.9kg-CO2/kWh × 120km = 2388kg-CO2

CO2排出量の比較
電気自動車(鹿児島) 100%削減 約1/3削減

燃料代の比較
電気自動車(鹿児島) 約1/3削減 約1/3削減

電気自動車に替えることで削減される1,489kg-CO2を置き換えたら

- 年間走行距離: 12,000km
- 電気自動車(鹿児島): 16.7kWh × 2.32kg-CO2/kWh = 387kg-CO2
- ガソリン車(標準): 18.7km/L × 2.32kg-CO2/kWh = 432kg-CO2
- 削減されるCO2: 432kg-CO2 - 387kg-CO2 = 45kg-CO2

電気自動車の特性

- 動力源の電気モーターにより、走行時に騒音や振動が少なく走りやすい。
- 家庭や倉庫での充電が気軽にでき、夜間(約9時間)で70%充電が可能です。
- 急速充電設備を利用すれば、約30分～2.80%の充電が可能です。

県では運輸部門からのCO2排出量を削減するため、平成22年度から電気自動車の導入を促進しています。

